京都市パリ情報拠点レポート（2018 年 6 月・7 月分）

1 統計

○訪日旅行者数（フランス）
・2018 年 6 月　19,400 人　（2017 年 6 月　16,071 人）（対前年比+20.7%）
・2018 年 7 月　33,300 人　（2017 年 7 月　29,096 人）（対前年比+14.4%）
※出典「日本政府観光局（JNTO）」

○京都市内 39 ホテル対象宿泊実人数（フランス）
・2018 年 6 月　1,700 人　（2017 年 6 月　1,460 人）（対前年比+11.9%）
・2018 年 7 月　2,509 人　（2017 年 7 月　2,017 人）（対前年比+20.2%）
※出典　京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビューロー「外国人客宿泊状況調査」 ※対前年比は総営業部屋数の差異を補正反映

2 市場動向

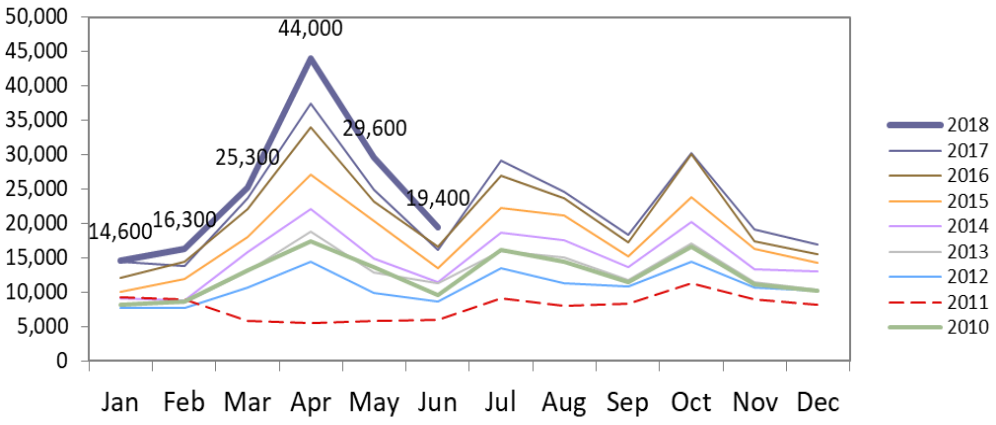
○　政治動向：

日本、フランス両政府は13日午後（日本時間14日未明）、自衛隊とフランス軍が物資や役務を融通し合う物品役務相互提供協定（ACSA）に署名した。両国の国内手続きを経て発効すれば、食料や燃料、弾薬などの相互提供が円滑になる。日本は、海洋進出を強化する中国をにらんでフランスとの連携を重視しており、安全保障面での具体的な協力を進める方針だ。

○　社会動向：

毎日 70 万人もの乗客が利用しているパリの主要駅の一つ、北駅が、2024 年に開催のパリ・オリンピックを念頭に、来年 2019 年より大規模な改装工事に入ることが発表された。複数の路線の乗り入れが検討されている他、駅構内にオフィス、レストラン、ショッピングセンター等の施設を備える予定。

国鉄および航空会社のストの影響にも関わらず、フランスのホテル業界は順調。6 月末時点でのフランス国内の平均客室稼働率は 67%、高級ホテルは同 71%。パリおよびその近郊に限ると、同 76%。7 月は 2015 年のテロ事件前の水準 88%に達する勢いにある。

○　訪日渡航動向:

JNTO の最新速報値によると、6 月全体の訪日外客数は、前年同月　15.3%増の 27 万 5 千人となり、6 月として過去最高を記録した。2018 年6月の訪日フランス人数は、前年同月比 20.7%増の 19 400 人となり、当該月過去最高となった。（2016 年比　16.5%増　2015 年比　43.7%増　2014 年比　68.5%増）。